

## 安全データシート

## 【1. 化学品及び会社情報】

製品名 : クリアロン NK  
 会社名 : 花王株式会社  
 住所 : (〒131-8501) 東京都墨田区文花2-1-3  
 担当部門 :  
 電話番号 : 03-5630-7141  
 FAX番号 : 03-5630-7130  
 メールアドレス : ipv@kao.co.jp  
 緊急連絡先 : 03-5630-7141  
 推奨用途及び使用上の制限 :

## 【2. 危険有害性の要約】

## GHS分類

## 物理化学的危険性

金属腐食性物質 : 区分1

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外  
 急性毒性（経皮） : 区分外  
 急性毒性（吸入） : 分類対象外(蒸気)  
 皮膚腐食性及び刺激性 : 区分1B  
 眼に対する重篤な損傷  
 ／眼刺激性 : 区分1

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性  
 （単回ばく露） : 分類できない

特定標的臓器毒性  
 （反復ばく露） : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

## 環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） : 分類できない

水生環境有害性（長期間） : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 : 金属腐食のおそれ  
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

## 注意書き

【安全対策】 : 他の容器に移し替えないこと。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 取扱後はよく洗うこと。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】 : 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 直ちに医師に連絡すること。

物的被害を防止するため流出したものを吸収すること。

【保管】 : 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

- 【廃棄】 : 施錠して保管すること。  
: 産業廃棄物処理業者に委託する。  
: 水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。

【使用上の注意】 :

### 【3. 組成、成分情報】

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物  
官報公示整理番号（化審法） : 有り  
官報公示整理番号（安衛法） : 有り  
成分及び含有量

成分	含有量(%)	CAS 番号
炭酸塩	非公開	非公開
けい酸塩	非公開	非公開
硫酸塩	非公開	非公開
カルボン酸塩	非公開	非公開
非イオン系界面活性剤	非公開	非公開
その他成分	非公開	

### 【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 通常、吸入する可能性は低いが、もし吸入して異常が残る場合は医師に相談する。  
皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で充分洗い流す。  
: 異常が残る場合は、皮膚科医の診断を受ける。  
: 洗浄剤が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。  
眼に入った場合 : 痛みや異常がなくても直後に必ず眼科医の診断を受ける。  
: こすらず直ちに流水で15分間以上洗い流す。  
: コンタクトレンズは外す。  
飲み込んだ場合 : 直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる。意識のない場合には口から何も与えない。  
: 無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

### 【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤  
使ってはならない消火剤 : 情報無し  
特有の危険有害性 : 情報無し  
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。  
: この製品自体は、燃焼しない。  
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

### 【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。  
: 多量の場合、人を安全に待避させる。  
: 必要に応じた換気を確保する。  
: 風上から作業する。  
環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。  
封じ込め及び浄化の方法及び  
機材 : 電気掃除機（真空クリーナー）、ほうき等を使用して回収する。  
: 粉塵が飛散しないようにして取り除く。  
二次災害の防止策 : 情報無し

### 【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い  
技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。  
安全取扱注意事項 : 眼及び皮膚への接触を避ける。  
: 粉塵を吸入してはならない。  
: 適切な排気換気装置を使用する。  
: 取扱い後はよく洗うこと。  
: 適切な保護具を着用すること。  
: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
: 酸との接触を避ける。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。  
施錠して保管すること。  
酸性物質と一緒に保管しない。
- 安全な容器包装材料 : 情報無し

## 【8. ばく露防止及び保護措置】

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。  
適切な排気換気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度
- 日本産業衛生学会 : 2 mg / m<sup>3</sup> (吸入性粉塵) 8 mg / m<sup>3</sup> (総粉塵) (第3種粉塵)  
その他の無機および有機粉塵
- ACGIH : 10 mg/m<sup>3</sup> TWA (inhalable particles, recommended); 3 mg/m<sup>3</sup> TWA (respirable particles, recommended) (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 必要により防塵マスク
- 手の保護具 : ゴム保護手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣
- 適切な衛生対策 : 情報無し

## 【9. 物理的及び化学的性質】

- 外観
- 物理的状态／形状 : 粉末
- 色 : 白色～黄色
- 臭い : ほとんど無臭
- 臭いの閾値 : 情報無し
- pH : 11.5 (0.2%水溶液)
- 融点 (流動点) : 情報無し
- 沸点 : 情報無し
- 引火点 : 検出せず
- 蒸発速度 : 情報無し
- 燃焼性 (固体、ガス) : 情報無し
- 燃焼又は爆発範囲 : 上限 : 情報無し 下限 : 情報無し
- 蒸気圧 : 情報無し
- 蒸気密度 : 情報無し
- 密度 (比重) : 1.0 g/mL (20.0 °C)
- 溶解度
- 水溶解性 : 可溶(易溶)
- 溶媒溶解性 : 情報無し
- n-オクタノール／水分配係数 (log Pow) : 情報無し
- 自然発火温度 : 情報無し
- 分解温度 : 情報無し
- 粘度 (粘性率) : 情報無し
- その他のデータ : 情報無し

## 【10. 安定性及び反応性】

- 化学的安定性 : 通常の使用では安定。
- 危険有害反応可能性 : 安定。
- 避けるべき条件 : 酸との接触を避ける。
- 混触危険物質 : 情報無し
- 危険有害な分解生成物 : 情報無し
- その他 : 情報無し

## 【11. 有害性情報】

- 急性毒性

経口	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: けい酸塩: 区分4; 参照(2) 炭酸塩: 区分4; 参照(17)
経皮	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し 13%は毒性が未知の成分からなる
吸入	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: けい酸塩: 区分1B; 参照(87) 炭酸塩: 区分2; 参照(3)
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: けい酸塩: 区分1; 参照(87) 炭酸塩: 区分2A; 参照(3)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
皮膚	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
変異原性 (生殖細胞変異原性)	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
発がん性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
IARC	: リストされていない
NTP	: リストされていない
日本産業衛生学会	: リストされていない
生殖毒性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
その他	: 情報無し

## 【12. 環境影響情報】

生態毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

## 【13. 廃棄上の注意】

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。  
産業廃棄物処理業者に委託する。  
水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。

## 【14. 輸送上の注意】

国際規制 : 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。  
国連分類・国連番号 : Class 8 / UN1759  
IATA : UN Number UN1759  
Proper Shipping Name Corrosive Solid, n.o.s. (containing Sodium Metasilicate)  
Class 8  
Packing Group III  
IMDG : UN Number UN1759  
Proper Shipping Name Corrosive Solid, n.o.s. (containing Sodium Metasilicate)  
Class 8  
Packing Group III  
Additional Information Not applicable  
国内規制 : 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。  
海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。  
輸送の特定の安全対策及び条件 : ”漏出時の処置：漏出時の措置”を参照。  
”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。  
容器の破損、漏れがないことを確かめる。  
荷くずれ防止を確実にを行う。  
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。  
緊急時応急措置指針番号：154

## 【15. 適用法令】

国内適用法令 : 化学物質排出把握管理促進法：該当しない  
労働安全衛生法：該当しない  
毒物及び劇物取締法：該当しない  
火薬類取締法：該当しない  
高圧ガス保安法：該当しない  
消防法：該当しない  
化審法：法第2条第5項、優先評価化学物質  
アクリル酸重合物のナトリウム塩  
船舶安全法：危規則第3条危険物告示別表第1腐食性物質  
航空法：施行規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質  
物質登録情報 : ENCS (Japan) 有り  
TSCA (USA) 有り  
EINECS (EU) 有り

## 【16. その他の情報】

問い合わせ先  
会社名 : 花王株式会社  
住所 : (〒131-8501)東京都墨田区文花2-1-3  
担当部門 :  
電話番号 : 03-5630-7141  
FAX番号 : 03-5630-7130  
メールアドレス : ipv@kao.co.jp  
緊急連絡先 : 03-5630-7141  
引用文献 : ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) (JIS Z 7253:2012)  
・国際化学物質安全性カード(ICSC)コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年  
・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2012年6月  
(2)Registry of Toxic Effects of Chemical Substances  
(3)IUCLID

(17) Hazardous Substances Data Bank (HSDB), National Library of Medicine  
(87) EU CLP規則 付属書VI

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡お願いいたします。